

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870501628
法人名	株式会社 セイフティー東予
事業所名	グループホーム 竹トンボ
所在地	愛媛県新居浜市落神蝶3番11号
自己評価作成日	平成24年2月9日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載](#)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成24年3月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域密着を目指し様々な行事等に行き来している。個々の役割を見つけてグループホームでの生活が充実できるよう支援しています。四季折々の旬の食べ物や草花に触れるような様々な工夫を行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「日々是好日」を理念とし、利用者一人ひとりの能力に応じてできる事を個々の役割とし、自らやってみようとする前向きな姿勢や気持ちを引き出せるよう支援している。利用者や家族に事業所で作成した「重度化における終末期ケアに関する指針」を説明し同意を得ている。防災や清掃活動、夏祭りや餅つき等行事を通じて地域との交流も図られている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I.理念に基づく運営
- II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含まれます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含まれます。

- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含まれます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名	グループホーム 竹トンボ
(ユニット名)	コスモス
記入者(管理者)	
氏名	横川 崇
評価完了日	24 年 2 月 9 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) ユニット入りロや職員トイレにも掲示している。またフロア会のレジメにも必ず掲載し再確認を行い意識統一を行なっている。</p> <p>(外部評価) 「日々是好日」という理念を職員全員で話し合っ て決め唱和し共有している。利用者一人ひとり ができることを役割として持てるよう支援し、理 念の実践に繋げている。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続け られるよう、事業所自体が地域の一員とし て日常的に交流している	<p>(自己評価) 地元自治会にも加入し地域の行事には積極的 に参加している。また事業所の行事にも運営 推進委員会を通じてたくさんの方に参加して いただいている。</p> <p>(外部評価) 自治会に加入し地域の祭りや清掃活動に参 加している。また、子どもの太鼓台や高校生 のボランティアを受け入れ、事業所主催の夕 涼み会や餅つきは地域の婦人会や民生委員 の協力を得て行われており、各行事を通し て地域との交流が図られている。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認 知症の人の理解や支援の方法を、地域の 人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) 運営推進委員会の中で認知症介護の理解 や現在の課題なども話し合っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 市の方と入居者家族様、地域役員の方、施設職員で構成しサービスの内容や課題、季節ごとの行事など色々な事を協議しサービスに活かしている。	
			(外部評価) 会議には民生委員、自治会長等地域住民代表や家族、市担当者が参加し、利用者の状況や行事の報告が行われ、意見交換や質疑応答が行われている。出席できなかった職員も情報を共有し、サービス向上に繋げている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 市の方針や情報なども運営推進員の際に説明や協力も得ている。また毎月待機者状況などのメールで報告している。	
			(外部評価) 運営推進会議に出席し情報を交換している。利用者の状況報告や待機状況、相談はメールにて行ない、連携を図っている。市が主催している研修会にも参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中の施錠は行なっておらず身体拘束は絶対に行わないというケアに取り組んでいる。	
			(外部評価) 言葉の抑制も含めて身体拘束は絶対しないという意向を管理者は職員に伝え理解している。玄関にはチャイムを設置し、外出しそうな素振りを把握した場合は、見守り対応している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 高齢者虐待法マニュアルなどもいつでも見れるようにしている。日々のケアの中で言動にも注意したフロア会などでも話し合っている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 今年度は研修には参加していないが個々の必要性あれば活用していきたい。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居の際には個室で十分な説明を行いまた不安や要望なども聞くように勤めている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 介護相談員を受け入れて入居者の要望などを聞いていただきケアに活かしている。	
			(外部評価) 施設での様子を便りで知らせたり、面会時にも意見や要望を聞いて運営に反映させたいと考えている。今年度より介護相談員を受け入れたが、まだ運営に反映するまでには至っていない。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価) フロア会を開き入居者のケアの検討やサービスの質の向上に努めている。また各自担当されている入居者の情報を報告することで情報の共有も行っている。</p> <p>(外部評価) 管理者と職員は日常業務の中で気軽に意見交換できる関係にある。また、2か月に1回行われるフロア会において意見を聞く機会を設けている。出された意見は管理者から代表者に報告し、可能な限り運営に反映させている。</p>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価) 様々な形態で雇用し個々にあった労働時間にも対応している。</p>	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価) 外部研修は随時に職員に必要な研修を進めている。内部では個々の課題なども随時説明しアドバイスしている。</p>	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価) 相互研修には参加し他の施設の良い所が学べるよう勧めている。</p>	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価) 安心して利用出来る様又、何でも話して貰える様声かけを十分に行い入居者の思いや不安などに対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) ご家族さんと面接を行い入居者の方の現在に至るまでの経緯や現状ご家族の不安や要望など聞かせていただいている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 個々の生活、認知レベルを考察し一番必要なものを本人、家族様と相談して支援するようにしている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 個々のレベルに応じた生活の中での役割を共に暮らす方と協力して行うことが出来るように支援している。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 受診等行って頂ける家族様には引き続きお願いし事業所などの行事などにも参加して頂けるよう勤めている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 他施設へ入居されているご家族に面会に行ったり来て頂いたりもしている。また個々の私物などを購入や交換、修理など行う場合にも以前行っていた店に行くこともある。 (外部評価) 電気器具の修理に、以前利用していた電気店へ行ったり、馴染みの店でめがねを購入するなどの支援をしている。利用者との会話や、家族から情報を得て馴染みの関係が継続できるよう支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 中庭や廊下が繋がっているので気軽に隣のユニットに行き来され雑談されている。またコミュニケーションが困難な入居者の場合には職員が間に入り関係を築いている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 他施設へ入居された方は電話連絡し様子を伺っていますが家族様へのフォローは出来ていない。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 出来る限り本人のマイペースを尊重している。困難な場合には個々の嗜好を考察し支援するように努めている。 (外部評価) 趣味や特技、できる事したい事、思いや意向を日々の暮らしの様子や会話や家族からの情報により汲み取るよう努めている。得た情報は介護記録に記載し職員全員で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ご家族さんのお話を聞かせて貰いながら毎日の記録を行い生活習慣を見出している。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 本人から出ているサインを見落とす事がない様に勤め臨機応変に対応している。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) ご家族、担当職員や本人の意向などを聞きまた現在の状況を協議しながら作成している。また随時状態変化があれば見直しを行っている。	
			(外部評価) 役割を持たせ、今できる事を一生懸命することを課題としている。日々のチェック表をもとに月1回職員全員でモニタリングし、3か月に1回カンファレンスを行い見直しを行っている。状態の変化により、その都度見直し、介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々記録を行い月毎の反省検討を行いながら介護計画に活かしている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 臨機応変なケアを心掛けているが他のサービスは利用には至っていない。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 個々の出来る出来ないのを把握し生活の中での役割を持って頂き生活の張りを見つけて頂いている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	<p>(自己評価) 基本的には入所前から行かれている主治医を継続して 受信している。又随時適切な医療を受けれるよう家族 様と相談しながら病院を決めています。</p> <p>(外部評価) 利用者や家族が希望するかかりつけ医へ職員が同行し ている。結果は家族と職員に報告し共有している。家 族対応の場合は、事業所での様子を家族に伝え結果を 聞いている。協力病院には、予防接種や感染症対策を お願いしている。</p>	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	<p>(自己評価) 看護師は勤務しておらず管理者が家族様や主治医や協 力医療機関に電話相談し随時対応している。</p>	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>(自己評価) 各医療機関と入院の際は協議しサマリーなどの情報交 換なども行い退院に向けての相談も行っている。</p>	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価) 重度化が進まれてきているご家族様とは話し合いを行 い施設の方針や限界を伝えて今後のことを相談してい る。</p> <p>(外部評価) 重度化における終末ケアに関する指針を作成してい る。現在夜間の緊急医療連携体制ができておらず、 ターミナルケアを行うことが難しい。利用者家族にそ の旨郵送にて連絡し同意を得ている。</p>	<p>状況の変化に応じて利用者や家族と話し合いを重ね意 向を把握し、安心して最期を迎えられるよう、夜間の 医療連携体制を構築し、勉強会や研修を通して職員の 質を向上させる等、重度化に向けた支援が行えるよう 今後の取組みに期待したい。</p>

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 急変や事故発生のマニュアルを作成しフロア会などでも説明している。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 地域の方にも緊急連絡網に入っただき年2回の訓練を行っている。また今年度はスプリンクラーを設置しました。 (外部評価) 年2回消防署の指導のもとに夜間を想定する等、訓練を行っている。地域の方にも援助をお願いしている。スプリンクラーを設置し火災に備えている。その他の災害については、避難場所を小学校と認識しているが実際の訓練は行っていない。備蓄は特にはしていないが、3～4日分の食材を常備している。	避難するには地域の援助が欠かせないため、地域の方の参加を得て、緊急連絡網を使った訓練を実施することが望まれる。また、運営推進会議に合わせて行い、施設の間取りや利用者の状態などを理解してもらう等、日頃からの備えについても取組んで行くよう期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 声かけは相手の気持ちや誇りを考えながら気をつけて行うよう心掛けている。 (外部評価) 職員は接遇の研修を受講しており、利用者の人格を尊重しながら一人ひとりに応じたケアが提供できるよう、取り組んでいる。また、利用者が自己決定しやすいように、声かけの仕方に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 選択できるように促す声かけを心掛けている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 出来る限り本人のマイペースを尊重している。困難な場合には個々の希望を考察し支援するように努めている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 個々の希望にあわせて行い希望ない場合には家族様に相談し支援している。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 個々の役割を行いながら食事している。入居者と共に同じものを食べて向上を目指しています。 (外部評価) 管理者が献立を考えて職員が調理している。利用者の様子を見守りながら職員と一緒に食事を楽しんでいる。買物や片付けや洗い物等、無理のない範囲で役割を持ってもらい、前向きな気持ちを引き出せるよう支援に努めている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食にお汁類を必ずつけたり牛乳やスポーツドリンク、高カロリージュース、お茶ゼリーなど様々な種類を使っています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後個々にあわせた口腔ケアを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 個々の排尿チェックを行いパターンを把握し随時誘導を行い失禁の軽減に努めている。また紙パンツから布パンツへの以降も個々の状況を観ながら進めています。	
			(外部評価) 排泄パターンを把握しトイレ誘導している。夜間のみ睡眠を妨げないようにオムツを使用する等、一人ひとりに応じた排泄支援に努めている。また、季節等も考慮しながら、利用者の状態に応じて柔軟に対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 乳製品などや食物繊維などや運動を促したりと個々にあわせて行っています。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 基本毎日入浴を行っています。重度の方や転倒の危険性のある方は2人介助にて入浴を行っています。	
			(外部評価) 介助の必要な利用者は午前中に行なっている。介助の必要のない利用者は、毎日午後に入浴している。熱い湯が好き等の好みを考慮しながら、利用者の希望も取り入れて入浴の順番を決めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 個々のペースに出来る限り合わせて支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個々の薬表を作っており変化あれば主治医に報告し検討していただいています。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 個々の能力に応じた役割を持っていただき生活に張りを持っていただいています。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 誕生日に温泉に行かれたり動物園に行かれたこともあります。家族様と外出や外泊される方も居られます。	
			(外部評価) 外出については、利用者と相談しながら行なっている。果物狩りに行ったり、季節の花を見に行ったり、時には中庭でバーベキューをすることもある。忘年会を温泉施設で行なったり、誕生日に動物園に行く等、様々な外出支援を行なっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) お金を待たれている方は自分の化粧品や衣類などを購入できるように支援しています。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 暑中見舞いや年賀状のやり取りは行っている。本人希望あれば電話もされることもあります。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 落ち着ける空間を目指し当たり前のものが当たり前にあり生活の中での匂いや四季を感じられるよう心掛けている。	
			(外部評価) 広いフロアの居間兼食堂の照明は、穏やかで精神的に落ち着く明るさに調節している。いろいろなところに、いすが置いてあり利用者が座って談話をしている。中央にある中庭で天気の良い日は日光浴を楽しんでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 共有空間では和室や随所にソファーやベンチも設置している。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 仏壇や家族様の写真、コタツやテレビなど個々に住みやすい環境となるよう家族様と相談しながら置いている。	
			(外部評価) 居室にはベッドやタンス、エアコンが備え付けられている。塗絵など思い思いの作品を飾ったり、仏壇や机、いす、コタツなど必要なものを持ち込み、居心地よい居室づくりがされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 建物内はバリアフリーで各所に手すりやバーを設置している。また休憩できるよう随所にベンチやソファーも設置しています。	

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870501628
法人名	株式会社 セイフティー東予
事業所名	グループホーム 竹トンボ
所在地	愛媛県新居浜市落神蝶3番11号
自己評価作成日	平成24年2月9日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 ※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成24年3月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域密着を目指し様々な行事等に行き来している。個々の役割を見つけてグループホームでの生活が充実できるよう支援しています。四季折々の旬の食べ物や草花に触れるような様々な工夫を行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「日々是好日」を理念とし、利用者一人ひとりの能力に応じてできる事を個々の役割とし、自らやってみようとする前向きな姿勢や気持ちを引き出せるよう支援している。利用者や家族に事業所で作成した「重度化における終末期ケアに関する指針」を説明し同意を得ている。防災や清掃活動、夏祭りや餅つき等行事を通じて地域との交流も図られている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホーム 竹トンボ

(ユニット名) 菜の花

記入者(管理者)
氏名 横川 崇

評価完了日 24年 2月 9日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) ユニット入りロや職員トイレにも掲示している。またフロア会のレジメにも必ず掲載し再確認を行い意識統一を行なっている。</p> <p>(外部評価) 「日々是好日」という理念を職員全員で話し合っ て決め唱和し共有している。利用者一人ひとり ができることを役割として持てるよう支援し、理 念の実践に繋げている。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続け られるよう、事業所自体が地域の一員とし て日常的に交流している	<p>(自己評価) 地元自治会にも加入し地域の行事には積極的 に参加している。また事業所の行事にも運営 推進委員会を通じてたくさんの方に参加して いただいている。</p> <p>(外部評価) 自治会に加入し地域の祭りや清掃活動に参 加している。また、子どもの太鼓台や高校生 のボランティアを受け入れ、事業所主催の 夕涼み会や餅つきは地域の婦人会や民生委 員の協力を得て行われており、各行事を通 じて地域との交流が図られている。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認 知症の人の理解や支援の方法を、地域の 人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) 運営推進委員会の中で認知症介護の理解 や現在の課題なども話し合っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 市の方と入居者家族様、地域役員の方、施設職員で構成しサービスの内容や課題、季節ごとの行事など色々な事を協議しサービスに活かしている。	
			(外部評価) 会議には民生委員、自治会長等地域住民代表や家族、市担当者が参加し、利用者の状況や行事の報告が行われ、意見交換や質疑応答が行われている。出席できなかった職員も情報を共有し、サービス向上に繋げている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 市の方針や情報なども運営推進員の際に説明や協力も得ている。また毎月待機者状況などのメールで報告している。	
			(外部評価) 運営推進会議に出席し情報を交換している。利用者の状況報告や待機状況、相談はメールにて行ない、連携を図っている。市が主催している研修会にも参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中の施錠は行なっておらず身体拘束は絶対に行わないというケアに取り組んでいる。	
			(外部評価) 言葉の抑制も含めて身体拘束は絶対しないという意向を管理者は職員に伝え理解している。玄関にはチャイムを設置し、外出しそうな素振りを把握した場合は、見守り対応している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 高齢者虐待法マニュアルなどもいつでも見れるようにしている。日々のケアの中で言動にも注意したフロア会などでも話し合っている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 今年度は研修には参加していないが個々の必要性あれば活用していきたい。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居の際には個室で十分な説明を行いまた不安や要望なども聞くように勤めている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 介護相談員を受け入れて入居者の要望などを聞いていただきケアに活かしている。 (外部評価) 施設での様子を便りで知らせたり、面会時にも意見や要望を聞いて運営に反映させたいと考えている。今年度より介護相談員を受け入れたが、まだ運営に反映するまでには至っていない。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価) フロア会を開き入居者のケアの検討やサービスの質の向上に努めている。また各自担当されている入居者の情報を報告することで情報の共有も行っている。</p> <p>(外部評価) 管理者と職員は日常業務の中で気軽に意見交換できる関係にある。また、2か月に1回行われるフロア会において意見を聞く機会を設けている。出された意見は管理者から代表者に報告し、可能な限り運営に反映させている。</p>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価) 様々な形態で雇用し個々にあった労働時間にも対応している。</p>	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価) 外部研修は随時に職員に必要な研修を進めている。内部では個々の課題なども随時説明しアドバイスしている。</p>	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価) 相互研修には参加し他の施設の良い所が学べるよう勧めている。</p>	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価) 安心して利用出来る様又、何でも話して貰える様声かけを十分に行い入居者の思いや不安などに対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) ご家族さんと面接を行い入居者の方の現在に至るまでの経緯や現状ご家族の不安や要望など聞かせていただいている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 個々の生活、認知レベルを考察し一番必要なものを本人、家族様と相談して支援するようにしている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 個々のレベルに応じた生活の中での役割を共に暮らす方と協力して行うことが出来るように支援している。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 受診等行って頂ける家族様には引き続きお願いし事業所などの行事などにも参加して頂けるよう勤めている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 他施設へ入居されているご家族に面会に行ったり来て頂いたりもしている。また個々の私物などを購入や交換、修理など行う場合にも以前行っていた店に行くこともある。 (外部評価) 電気器具の修理に、以前利用していた電気店へ行ったり、馴染みの店でめがねを購入するなどの支援をしている。利用者との会話や、家族から情報を得て馴染みの関係が継続できるよう支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 中庭や廊下が繋がっているので気軽に隣のユニットに行き来され雑談されている。またコミュニケーションが困難な入居者の場合には職員が間に入り関係を築いている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 他施設へ入居された方は電話連絡し様子を伺っていますが家族様へのフォローは出来ていない。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 出来る限り本人のマイペースを尊重している。困難な場合には個々の嗜好を考察し支援するように努めている。 (外部評価) 趣味や特技、できる事したい事、思いや意向を日々の暮らしの様子や会話や家族からの情報により汲み取るよう努めている。得た情報は介護記録に記載し職員全員で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ご家族さんのお話を聞かせて貰いながら毎日の記録を行い生活習慣を見出している。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 本人から出ているサインを見落とす事がない様に勤め臨機応変に対応している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) ご家族、担当職員や本人の意向などを聞きまた現在の状況を協議しながら作成している。また随時状態変化があれば見直しを行っている。	
			(外部評価) 役割を持たせ、今できる事を一生懸命することを課題としている。日々のチェック表をもとに月1回職員全員でモニタリングし、3か月に1回カンファレンスを行い見直しを行っている。状態の変化により、その都度見直し、介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々記録を行い月毎の反省検討を行いながら介護計画に活かしている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 臨機応変なケアを心掛けているが他のサービスは利用には至っていない。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 個々の出来る出来ないのを把握し生活の中での役割を持って頂き生活の張りを見つけて頂いている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	<p>(自己評価) 基本的には入所前から行かれている主治医を継続して 受信している。又随時適切な医療を受けれるよう家族 様と相談しながら病院を決めています。</p> <p>(外部評価) 利用者や家族が希望するかかりつけ医へ職員が同行し ている。結果は家族と職員に報告し共有している。家 族対応の場合は、事業所での様子を家族に伝え結果を 聞いている。協力病院には、予防接種や感染症対策を お願いしている。</p>	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	<p>(自己評価) 看護師は勤務しておらず管理者が家族様や主治医や協 力医療機関に電話相談し随時対応している。</p>	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>(自己評価) 各医療機関と入院の際は協議しサマリーなどの情報交 換なども行い退院に向けての相談も行っている。</p>	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価) 重度化が進まれてきているご家族様とは話し合いを行 い施設の方針や限界を伝えて今後のことを相談してい る。</p> <p>(外部評価) 重度化における終末ケアに関する指針を作成してい る。現在夜間の緊急医療連携体制ができておらず、 ターミナルケアを行うことが難しい。利用者家族にそ の旨郵送にて連絡し同意を得ている。</p>	<p>状況の変化に応じて利用者や家族と話し合いを重ね意 向を把握し、安心して最期を迎えられるよう、夜間の 医療連携体制を構築し、勉強会や研修を通して職員の 質を向上させる等、重度化に向けた支援が行えるよう 今後の取組みに期待したい。</p>

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 急変や事故発生のマニュアルを作成しフロア会などでも説明している。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 地域の方にも緊急連絡網に入っただき年2回の訓練を行っている。また今年度はスプリンクラーを設置しました。 (外部評価) 年2回消防署の指導のもとに夜間を想定する等、訓練を行っている。地域の方にも援助をお願いしている。スプリンクラーを設置し火災に備えている。その他の災害については、避難場所を小学校と認識しているが実際の訓練は行っていない。備蓄は特にはしていないが、3～4日分の食材を常備している。	避難するには地域の援助が欠かせないため、地域の方の参加を得て、緊急連絡網を使った訓練を実施することが望まれる。また、運営推進会議に合わせて行い、施設の間取りや利用者の状態などを理解してもらう等、日頃からの備えについても取組んで行くよう期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 声かけは相手の気持ちや誇りを考えながら気をつけて行うよう心掛けている。 (外部評価) 職員は接遇の研修を受講しており、利用者の人格を尊重しながら一人ひとりに応じたケアが提供できるよう、取り組んでいる。また、利用者が自己決定しやすいように、声かけの仕方に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 選択できるように促す声かけを心掛けている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 出来る限り本人のマイペースを尊重している。困難な場合には個々の希望を考察し支援するように努めている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 個々の希望にあわせて行い希望ない場合には家族様に相談し支援している。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 個々の役割を行いながら食事している。入居者と共に同じものを食べて向上を目指しています。 (外部評価) 管理者が献立を考えて職員が調理している。利用者の様子を見守りながら職員と一緒に食事を楽しんでいる。買物や片付けや洗い物等、無理のない範囲で役割を持ってもらい、前向きな気持ちを引き出せるよう支援に努めている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食にお汁類を必ずつけたり牛乳やスポーツドリンク、高カロリージュース、お茶ゼリーなど様々な種類を使っています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後個々にあわせた口腔ケアを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 個々の排尿チェックを行いパターンを把握し随時誘導を行い失禁の軽減に努めている。また紙パンツから布パンツへの以降も個々の状況を観ながら進めています。	
			(外部評価) 排泄パターンを把握しトイレ誘導している。夜間のみ睡眠を妨げないようにオムツを使用する等、一人ひとりに応じた排泄支援に努めている。また、季節等も考慮しながら、利用者の状態に応じて柔軟に対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 乳製品などや食物繊維などや運動を促したりと個々にあわせて行っています。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 基本毎日入浴を行っています。重度の方や転倒の危険性のある方は2人介助にて入浴を行っています。	
			(外部評価) 介助の必要な利用者は午前中に行なっている。介助の必要のない利用者は、毎日午後に入浴している。熱い湯が好き等の好みを考慮しながら、利用者の希望も取り入れて入浴の順番を決めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 個々のペースに出来る限り合わせて支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個々の薬表を作っており変化あれば主治医に報告し検討していただいています。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 個々の能力に応じた役割を持っていただき生活に張りを持っていただいています。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 誕生日に温泉に行かれたり動物園に行かれたこともあります。家族様と外出や外泊される方も居られます。	
			(外部評価) 外出については、利用者と相談しながら行なっている。果物狩りに行ったり、季節の花を見に行ったり、時には中庭でバーベキューをすることもある。忘年会を温泉施設で行なったり、誕生日に動物園に行く等、様々な外出支援を行なっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) お金を待たれている方は自分の化粧品や衣類などを購入できるように支援しています。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 暑中見舞いや年賀状のやり取りは行っている。本人希望あれば電話もされることもあります。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 落ち着ける空間を目指し当たり前のものが当たり前にあり生活の中での匂いや四季を感じられるよう心掛けている。	
			(外部評価) 広いフロアの居間兼食堂の照明は、穏やかで精神的に落ち着く明るさに調節している。いろいろなところに、いすが置いてあり利用者が座って談話をしている。中央にある中庭で天気の良い日は日光浴を楽しんでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 共有空間では和室や随所にソファーやベンチも設置している。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 仏壇や家族様の写真、コタツやテレビなど個々に住みやすい環境となるよう家族様と相談しながら置いて頂いている。	
			(外部評価) 居室にはベッドやタンス、エアコンが備え付けられている。塗絵など思い思いの作品を飾ったり、仏壇や机、いす、コタツなど必要なものを持ち込み、居心地よい居室づくりがされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 建物内はバリアフリーで各所に手すりやバーを設置している。また休憩できるよう随所にベンチやソファーも設置しています。	